

インフルエンザの流行について

インフルエンザについては、第36週（令和5年9月4日から9月10日まで）から2023/2024シーズンに移行しています。

県内のインフルエンザ患者の1定点医療機関当たりの報告数が第36週に3.71人であったことから、本県においてインフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます。

例年より早い時期から患者報告数の増加が見られていますので、県民の皆様には、インフルエンザに対する正しい知識に基づき、感染予防対策を心がけていただきますようお願いいたします。

- 流行入り：県全体の定点医療機関当たりの報告数が定点当たり1.00以上となった時
- 注意報発令：県全体の定点医療機関当たりの報告数が10.00以上となった時
- 警報発令：県全体の定点医療機関当たりの報告数が30.00以上となった時
- 警報解除：県全体の定点医療機関当たりの報告数が10未満となった時

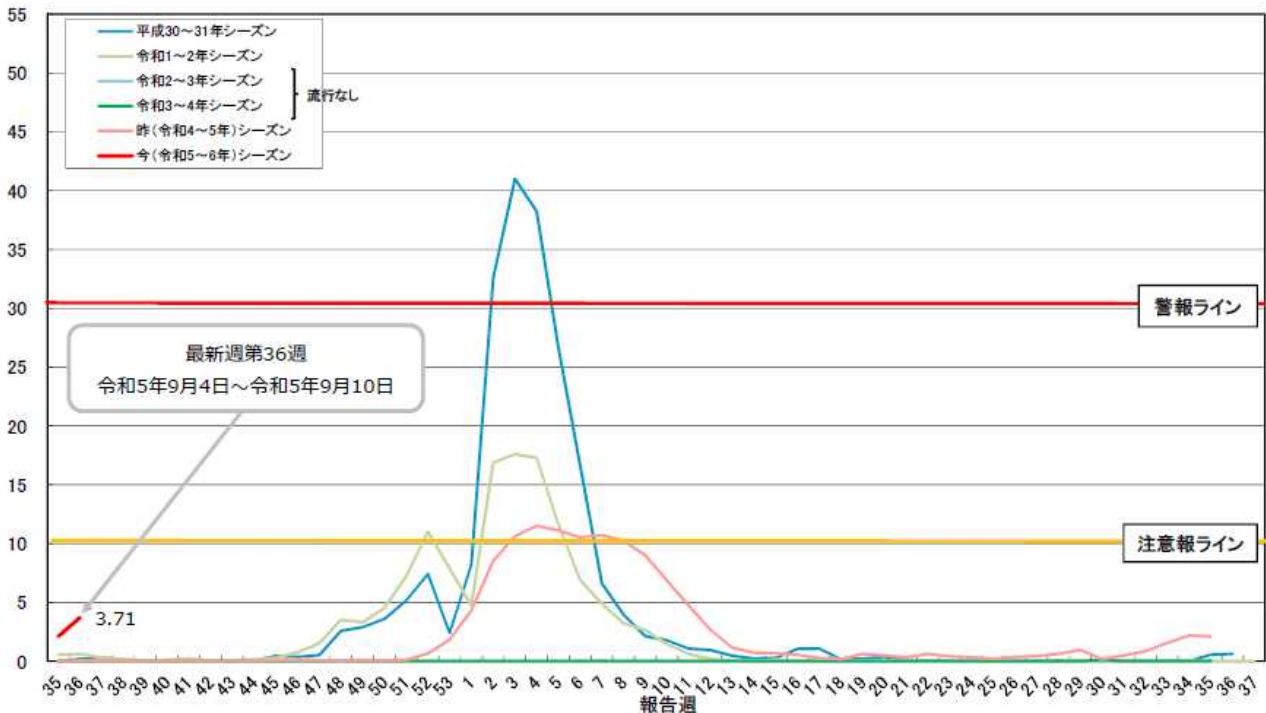
【流行の状況】

○各保健所管内の最新データ（第36週：令和5年9月4日から令和5年9月10日まで）

	県全体	保健所名								
		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
患者報告数	182	57	5	7	12	11	13	44	33	0
定点当たり報告数	3.71	3.80	1.67	1.17	2.00	2.75	4.33	6.29	11.00	0

○過去のシーズンとの比較

定点当たり報告数 本県のインフルエンザ定点当たり報告数の推移（県内49定点医療機関集計分）



○全国と本県（各保健所）のインフルエンザの定点当たり報告数の推移

区分	定点数	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週
		6/12-6/18	6/19-6/25	6/26-7/2	7/3-7/9	7/10-7/16	7/17-7/23	7/24-7/30	7/31-8/6	8/7-8/13	8/14-8/20	8/21-8/27	8/28-9/3	9/4-9/10
全国	約5,000	1.29	1.20	1.26	1.66	1.76	1.59	1.64	1.44	1.07	1.01	1.40	2.56	4.48
和歌山県	49	0.33	0.22	0.35	0.43	0.61	0.96	0.20	0.47	0.85	1.55	2.18	2.10	3.71
和歌山市保健所	15	0.27	0.00	0.00	0.00	1.07	2.33	0.40	0.47	0.47	1.33	2.13	2.00	3.80
海南保健所	3	1.00	0.67	0.33	0.33	0.00	1.00	1.00	0.67	0.33	2.33	2.33	0.33	1.67
岩出保健所	6	0.17	0.50	2.17	2.00	1.50	1.00	0.17	0.67	0.80	0.83	2.67	1.50	1.17
橋本保健所	6	0.17	0.17	0.00	0.50	0.00	0.17	0.00	0.17	0.33	0.83	1.17	0.83	2.00
湯浅保健所	4	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	1.25	0.25	0.75	3.25	4.50	2.75
御坊保健所	3	1.67	1.33	0.33	1.67	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.67	0.00	1.00	4.33
田辺保健所	7	0.29	0.14	0.00	0.00	0.14	0.14	0.00	0.14	0.29	2.14	1.86	4.57	6.29
新宮保健所	3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	1.00	6.67	4.67	6.00	1.33	11.00
串本支所	2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00	0.50	0.50	0.00

※ 第36週（9月4日から9月10日まで）から2023/2024シーズンです。

【正しい知識を身に付けましょう】

今シーズンにおいても、すべての年齢の方、特に乳幼児、高齢者、基礎疾患のある方は注意が必要です。以下を参考にインフルエンザへの感染予防対策を心がけていただきますようお願いします。

●医療機関を受診する際の注意点

発熱や咳等、インフルエンザ様の症状がある方は、早めに医療機関を受診してください。特に、乳幼児や高齢者、基礎疾患のある方は重症化のおそれもありますので、感染した場合の対応等心配なことがあれば、あらかじめかかりつけ医に相談しておきましょう。

●インフルエンザ予防で注意すべきこと

1 咳エチケットを徹底しましょう。

咳やくしゃみのしぶきは約2メートル飛ぶと言われています。咳やくしゃみが出ている時はできるだけ不織布製マスクを着用しましょう。また、とっさの咳やくしゃみの際にマスクがない場合は、ティッシュ等で口と鼻を覆うことも大切です。

2 こまめに手洗いを行いましょう。

流水・石鹸による手洗いは手指等体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染等を感染経路とする感染症の対策の基本です。

3 湿度を適切に保ちましょう。

特に乾燥しやすい室内では、加湿器等を使用し、適切な湿度（50～60％）に保ちましょう。

4 健康管理に努めましょう。

体の抵抗力を高めるため、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。

5 室内ではこまめに換気を行いましょう。

季節を問わず十分な換気が重要です。窓開けによる換気は、対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的な換気ができます。

6 ワクチン接種（効果が現れるまで2週間ほどかかります。）

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。ワクチンは、例年10月頃から接種可能です。